

学習や生活・行動面で気になる児童の具体例

学習面に 関する 事例	・特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない	
	・とても得意なことがある一方で、極端に不得手なものがある。	
	・黙読が苦手で、文字を目で追えなかったり、声に出して読んでしまったりする。	
	・読みにくい文字を書く	
	・独特の筆順で書く	
	・学年相応の図形を理解し、分類（仲間分け）したり、描いたりする（丸、ひし形などの 図形の視写、見取り図や展開図）ことが難しい。	
	・場面や状況に関係ない発言をする ・質問の意図とずれている発言をする	
生活・行動面に 関する 具体的な 事例	・大人びている。ませている	
	・ある特定の分野にだけ強い興味・関心があり、大変詳しい。	
	・他の子どもは興味を持たないようなことに興味があり、「自分だけの知識世界」を持っている	
	・会話の仕方が形式的であり、抑揚なく話したり、間合いがとれなかったりすることがある。	
	・言葉を組み合わせ、自分だけにしかわからないような造語を作る	
	・独特な声で話すことがある。	
	・誰かに何かを伝える目的がなくても場面に関係なく声を出す（唇をならす、咳払い、のどを鳴らす、叫ぶ）	
	・独特な目つきをすることがある。	
	・他の子どもたちからいじめられる事がある	
	・独特な表情をしていることがある。	
	・独特な姿勢をしていることがある。（体がぐにゃぐにゃしているようにみえる。または 筋力が弱い、椅子に座っていても姿勢が悪いことが非常に多い。）	
	・目と目で見つめ合う、身振りなどの多彩な非言語的な行動が困難である。	
	・同学年及び同年代の仲間関係をつくるのが困難である。	
	・楽しい気持ちを他人と共有することや気持ちでの交流が困難である。	
	・話し言葉の遅れがあり、身振りなどにより補おうとしない	
	・他人と会話を開始し継続する能力に明らかな困難性がある。	
	・常同的で反復的な言葉の使用または独特な言語がある。	
	・強いこだわりがあり、限定された興味だけに熱中する。	
	・特定の習慣や手順にかたくなにこだわる。	
	・反復的な変わった行動（例えば、手や指をばたばたさせるなど）をする。	
・特定のものや事柄に固執する。		
・常識的な判断が難しいことがある。		
・動作やジェスチャーがぎこちない		
・適切な速さで話すことが難しい（たどたどしい、とても早口）		
・早合点や飛躍した考え方をする		

・必要な物をよくなくす	
・本人のこだわりのために、他の児童の言動が許せないことがある。	
・係活動や当番活動は、教師や友達に促されてから行うことが多い。	
・自分の持ち物等の整理整頓が難しく、机の周辺が散らかっている。	
・準備や後片づけに時間がかかり、手際が悪い	
・時間内に行動したり、時間配分を適切に配分したりできない。	
・掃除の仕方、衣服の選択や着脱などの基本的な日常生活の技能を習得していない	
・友達より教師（大人）と関係をとることを好む	
・口げんかやこぜりあい等、友達とのトラブルが多い。	
・告げ口をする、邪魔をする、相手をけなすなど、友達から嫌われるようなことをする	
・自分の知識をひけらかすような言動がある。	
・自分が非難されると過剰に反応する	
・痛みやさわれることに過敏に反応する（または極端に鈍感である）	
・特定の音に不快感を示したり、その場から逃げ出そうとしたりする。	
・空想やイメージの中のことと、現実との切り替えが難しいことがある。	
・テレビなどで見聞きした言葉をくり返し言う、またはつぶやく。	
・何事にも自信が持てない、もしくは何事にも意欲がわかない様子がみられる	
・頭痛、腹痛、過労など身体的な不調が起きやすい	
・授業もしくは学校を休みがちである	
・何度注意しても変わらない	
・学級や仲間の中における暗黙のルールがわからないようにみえる。	
・保護者や教師等大人への反抗的な言動が多い。	
・感情の起伏が激しく、すぐにかんしゃくを起こすなど、感情に流される行動がある。	
・故意に他の子どもや保護者・教師をいらだたせるような言動がある。	
・自分の失敗を他人のせいにする。	
・故意に器物を傷つけたり壊したりすることがある。	
・同級生などに対して威嚇するような発言が見られる。	
・他の子どもとよくトラブルを起こし、手が出たり、取っ組み合いのケンカをしたりする	
・他の子どもあるいは動物に残酷な行為をしたことがある。	
・嘘をつくことがある。	
・刃物やバットで他人を威嚇するなどの行為をしたことがある。	

特別な教育的ニーズのある子どものための行動チェックリスト（低学年用）

下記の項目を見て、あてはまる数値を で囲んで下さい。

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
1 聞 く	個別に言われたことを理解できる	1	2	3
	集団の場面で言われたことを理解できる	1	2	3
	聞き間違いや聞きもちがが少ない	1	2	3
	話を聞いて学年相応 ^{*1} に理解できる	1	2	3
	友達同士の会話を聞いて理解できる	1	2	3
		平均		合計

* 1：学年相応の基準については、国語科・算数科に関するものは別表を参照のこと

生活行動面における「学年相応」については、同学年の児童との相対的な観点で判断するものとする。以下同様

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
2 話 す	自分の意志を大まかに言葉で伝えることができる	1	2	3
	はっきりした発音で言葉につまらないで話ができる	1	2	3
	経験した出来事を話すことができる	1	2	3
	単語の羅列でなく順を追って話すことができる	1	2	3
	友達と学年相応の会話をすることができる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
3 読 む	ひらがな、カタカナが読める	1	2	3
	既習の漢字が読める	1	2	3
	やさしい読み物を興味を持って読める	1	2	3
	語や文のまとまりを考えて、教科書の音読ができる	1	2	3
	教科書を読んで内容が理解できる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
4 書 く	ひらがな、カタカナが書ける	1	2	3
	長音・拗音・促音や助詞の「へ・は・を」が正しく書ける	1	2	3
	既習の漢字が書ける	1	2	3
	形や大きさが整った字が書ける	1	2	3
	簡単な作文が書ける	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
計 算	学年相応の数の意味や表し方がわかる	1	2	3
	学年相応の量の意味や表し方がわかる	1	2	3
	学年相応の数量の比較ができる	1	2	3
	順序について理解できる	1	2	3
	学年相応のたし算・ひき算ができる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
推 論	簡単な事柄について数や図を用いて表すことができる	1	2	3
	教科書を読んで場面の様子を想像することができる	1	2	3
	なぞなぞを理解し答えることができる	1	2	3
	原因と結果の関係が理解できる	1	2	3
	場にあった行動がとれる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
7 行 動 の バ ラ ン ス	縄跳びやボール投げができる ^{*1}	1	2	3
	学年相応の鉄棒やマット運動ができる ^{*2}	1	2	3
	極端に遅れずに走ることができる	1	2	3
	運動会のダンスが踊れる	1	2	3
	片足ケンケンができる	1	2	3
		平均		合計

* 1：縄跳びとボール投げととらえるのではなく、体の調整力

* 2：鉄棒とマット運動の技能ととらえるのではなく、学年相応の器械運動に要する支持力

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
巧 緻 性	プリント等をきちんとたたむことができる ^{*1}	1	2	3
	はさみで簡単な形を切ることができる ^{*2}	1	2	3
	粘土で作品を作ることができる	1	2	3
	はみ出さないように色を塗ることができる	1	2	3
	箸を使ってこぼさないで食事ができる	1	2	3
		平均		合計

* 1：感情の起伏等に関係なく、一生懸命丁寧に作業しようとしても角を合わせてまっすぐに折ることができない。

* 2：線に合わせて切るは要求していない。はさみを使って紙等を切ることができる

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
9 注 意	作品を最後まで仕上げることができる(できは問わない)	1	2	3
	自分の持ち物が片付けられる	1	2	3
	提出物などをきちんと出せる	1	2	3
	授業中他のことに気を取られずに集中できる	1	2	3
	日直など決まった仕事ならやりとげられる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
10 多 動	授業中席に着くことができる	1	2	3
	やたらに手足を動かしたり, もじもじしたりしない	1	2	3
	体育館や運動場で勝手な動きをしない	1	2	3
	必要な場面ではきちんとしていられる	1	2	3
	やたらに自分勝手なおしゃべりをしない	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
11 衝 動 性	割り込まないで順番を待つことができる	1	2	3
	ドッジボールや鬼ごっこなどルールに従って楽しめる	1	2	3
	指名されるのを待って発言ができる	1	2	3
	話を最後まで聞くことができる	1	2	3
	困ったり怒ったりしても乱暴な言動をしない	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
12 変 化 適 応	急な予定変更があっても混乱しない	1	2	3
	校外学習など慣れない場面でも落ち着いていられる	1	2	3
	自分のやり方にこだわらない	1	2	3
	やりたいことがあっても必要に応じてやめられる	1	2	3
	嫌なことがあっても学年相応の我慢ができる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
13 対 人 関 係	学校行事や集会に参加できる	1	2	3
	友達と一緒にの班活動に取り組める	1	2	3
	休み時間や放課後に友達と遊ぶことができる	1	2	3
	友達と一緒に楽しんだり喜んだりできる	1	2	3
	ルールが理解できる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
14 ミ ニ キ ン	「貸して」「ありがとう」などが適切に言える	1	2	3
	大人となら一方的でない会話ができる	1	2	3
	自分の気持ちを相手に伝えることができる	1	2	3
	しりとり等のやりとり遊びができる	1	2	3
	相手の話にあわせて会話ができる	1	2	3
		平均		合計

聞く	話す	読む	書く	計算	推論	行動 バランス	巧 緻 性	注意	多動	衝動 性	変化 適応	対人 関係	ミ ニ キ ン
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

		かなり ある	多少 ある	ない
担 任 の と ら え	学級の学習・秩序に上記の事項が与える影響	1	2	3
	本人の学習・生活に上記の事項が与える影響	1	2	3
	配慮・支援の必要性	1	2	3

【特記事項】

特別な教育的ニーズのある子どものための行動チェックリスト（中・高学年用）

下記の項目を見て、あてはまる数値を で囲んで下さい。

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
1 聞 く	個別の場面で話を聞いて理解できる	1	2	3
	集団の場面で話を聞いて理解できる	1	2	3
	聞き間違いや聞きもちがが少ない	1	2	3
	話を聞いて学年相応 ^{*1} に理解できる	1	2	3
	友達同士の会話を聞いて理解できる	1	2	3
		平均		合計

* 1：学年相応の基準については、国語科・算数科に関するものは別表を参照のこと

生活行動面における「学年相応」については、同学年の児童との相対的な観点で判断するものとする。以下同様

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
2 話 す	相手や場面に応じて必要なことが言える	1	2	3
	話し合いの際に学年相応の意見が言える	1	2	3
	経験した出来事を順序よく話すことができる	1	2	3
	言い間違いや言葉の使い方の間違いが少ない	1	2	3
	友達と学年相応の会話をすることができる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
3 読 む	ひらがな、カタカナが読める	1	2	3
	学年相応に漢字が読める	1	2	3
	読み間違いをしないで教科書の音読ができる	1	2	3
	教科書を読んで内容が理解できる	1	2	3
	読むことを極端に嫌がらない	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
4 書 く	長音、拗音、促音や助詞の「へ、は、を」が適切に表記できる	1	2	3
	既習の漢字が書ける	1	2	3
	板書を書き写すことができる	1	2	3
	極端に見劣りしない書写の作品を仕上げることができる	1	2	3
	学年相応の文章が書ける	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
計 算	学年相応の数の意味や表し方がわかる	1	2	3
	学年相応の量の意味や表し方がわかる	1	2	3
	学年相応の数量の比較ができる	1	2	3
	学年相応の計算ができる	1	2	3
	学年相応の計算を適切に用いることができる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
推 論	学年相応の数量関係が理解できる	1	2	3
	物語の登場人物の心情を読みとれる	1	2	3
	なぞなぞを理解し答えることができる	1	2	3
	結果を考えて行動できる	1	2	3
	場にあった行動がとれる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
7 行 動 の バ ラ ン ス	縄跳びやボール投げができる	1	2	3
	学年相応の器械運動ができる	1	2	3
	極端に遅れずに走ることができる。	1	2	3
	運動会のダンス（学年種目）が踊れる	1	2	3
	平均台や馬跳びができる	1	2	3
		平均		合計

* 1：縄跳びとボール投げととらえるのではなく、体の調整力

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
8 巧 緻 性	必要な場面で紙をきちんと折ることができる	1	2	3
	はさみで曲線 ^{*1} が切れる	1	2	3
	コンパスや定規の操作ができる	1	2	3
	手を十分に働かせて小刀等 ^{*2} の用具を工夫して使える	1	2	3
	給食の盛りつけができる	1	2	3
		平均		合計

* 1：線の通りに切ることを要求しているものではない

* 2：彫刻刀のように用途が明確なものではない小刀。

思うとおりに仕上げるための道具の使い方や手の動きの工夫

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
9 注 意	作品を最後まで仕上げることができる(できは問わない)	1	2	3
	自分の持ち物の管理ができる	1	2	3
	教室移動があっても必要なものを準備できる	1	2	3
	授業中,他のことに気を取られずに集中できる	1	2	3
	係や委員会などで頼まれた仕事をやりとげられる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
10 多 動	授業中勝手に席を離れない	1	2	3
	授業中やたらに身体を動かさない	1	2	3
	必要な場面できちんと行動することができる	1	2	3
	授業中勝手なおしゃべりをしない	1	2	3
	話題がめまぐるしく変わらない	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
11 衝 動 性	順番を待つことができる	1	2	3
	サッカーやバスケットなどルールに従って楽しめる	1	2	3
	他人を妨害したり邪魔するようなことをしない	1	2	3
	話を最後まで聞くことができる	1	2	3
	不満や怒りを学年相応にコントロールできる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
12 変 化 適 応	急な予定変更が続いても対応できる	1	2	3
	慣れない教室でも落ち着いて学習ができる	1	2	3
	自分のやり方にこだわらないで行動できる	1	2	3
	状況に応じて活動を切り替えることができる	1	2	3
	嫌なことでもある程度がまんして取り組める	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
13 対 人 関 係	学校行事や集会に落ち着いて参加できる	1	2	3
	友達と協力した班行動がとれる	1	2	3
	休み時間に友達と一緒に遊べる	1	2	3
	友達と一緒に楽しんだり喜んだりできる	1	2	3
	周りの雰囲気や状況に合わせた行動がとれる	1	2	3
		平均		合計

		できない ことが 多い	できない ことが ある	できる
14 ミ ニ キ ン	相手や状況に合わせた言葉遣いができる	1	2	3
	友達と一方的でない会話ができる	1	2	3
	自分の気持ちを相手に適切*1に伝えることができる	1	2	3
	相手の興味や関心に合わせた会話ができる	1	2	3
	冗談や嫌みが通じる	1	2	3
		平均		合計

* 1 : 言われて嫌な気持ちになったこと等、自分の気持ちを言葉を選んで伝えることができる。

聞く	話す	読む	書く	計算	推論	行動 バランス	巧 緻 性	注意	多動	衝動 性	変化 適応	対人 関係	ミ ニ キ ン

		かなり ある	多少 ある	ない
担 任 の と ら え	学級の学習・秩序に上記の事項が与える影響	1	2	3
	本人の学習・生活に上記の事項が与える影響	1	2	3
	配慮・支援の必要性	1	2	3

【特記事項】